

# 2009 Report from **FD** Salon of RUCED

09-1

龍谷大学 FDサロンレポート

短期大学部FD委員会主催 第1回FD研修会

## ギャップ・イヤーの導入可能性について

- (1) 「ギャップ・イヤー (GY) あるいはギャップ・タイム (GT) の導入の可能性について」  
秦由美子氏 (広島大学 高等教育研究開発センター 准教授)
- (2) 「教養福祉コースへのギャップ・イヤー・プログラムの導入案」  
阪口春彦 (龍谷大学短期大学部 教授)

日時：2009年4月6日 (月) 11:00 ~ 12:30 場所：深草学舎 紫英館2階 東第2会議室

本レポートは、大学教育開発センター主催の2009年度第1回FDサロンおよび短期大学部FD委員会主催の2009年度第1回FD研修会として開催された研究会の内容をまとめたものである。

### はじめに

2011年度に予定されている短期大学部の改組において、社会福祉学科 (仮称) の中に編入学を前提とした教養福祉コース (仮称) の設置が構想されている。

教養を深めるとともに、学びたい学問分野や学習目的を明確化させることができるプログラムを教養福祉コースの中に用意することができるかどうか、本コースの成否がかかっていると言っても過言ではないと思われるが、このようなプログラムを構築するうえで、英国等で普及しているギャップ・イヤー (大学入学前等においてボランティア活動等の社会活動を行い、視野を広げるための猶予期間) が参考になるのではないかと思われる。

そこで、ギャップ・イヤーについて研究されてきた広島大学高等教育研究開発センターの秦由美子先生をお招きし、ギャップ・イヤーについての理解を深めるとともに、短期大学部に導入できるとすればどのようなことが考えられるのか、意見交換等を行った。

### ギャップ・イヤーとは

ヨーロッパの職人が遍歴による教養を身につけていたのに対し、家庭教師から教育を受けた貴族層が支配者としての (国際) 教養を補うため外国遍歴 (グランド・ツアー: grand tour) を行ったことがギャップ・イヤーの起源で、現在では16歳から25歳までの若者が、3ヶ月から24ヶ月にかけて正規の教育・訓練・職場から離れて時間を費やすことだとされている。

英国では、年間約60,000人以上の若者が Gap Year を取っており、日本では、名古屋商科大学、秋田国際教養大学、倉敷芸術科学大学、光陵女子短期大学などが制度の導入を始めている。

### ギャップ・イヤーへの評価

ギャップ・イヤーに対しては、大学や企業から、(1)成熟度が大きく増し、様々なスキルを身につけるため、効果的に学位やその他の正規の資格に取り組める、(2)経験により視点と知識が広がる、(3)ギャップ・イヤー生の大学での成績が良くなっている、(4)新しいスキルを身につけ、自分の能力を広げ、実社会に対する見識を得た大卒者は、就職活動時には雇用者側に大きなインパクトを与える、(5)自立性と決断力、対人能力の発達、問題解決能力、自制心、リーダーシップ、コミュニケーション能力、金銭管理能力等が伸びる、などと評価されている。

### 本学での導入の可能性について

本学での導入の可能性については、短期大学部の阪口より、後掲の資料 (当日配布レジュメ) のとおり、教養福祉コースへのギャップ・イヤー・プログラムの導入案が示され、意見交換等が行われた。

「自らの生き方を見つけるための振り返りの時間 = ギャップ・イヤー」については、評価方法や企業の理解を得るための啓発などが今後解決すべき課題となるが、一定の期間を設け、人生を模索することを経て人間力の高い学生を養成することのできるこの仕組みの導入は、大いに検討の余地があるであろうとの意見が出された。

# 教養福祉コースへの ギャップ・イヤー・プログラムの導入案

短期大学部 阪口 春彦

## 0 はじめに

### 1 導入案の概要

現時点における短期大学部改組案においては、表1のとおり、教養福祉コースの龍谷大学指定校推薦編入学希望者は、「他領域関連科目」(「学部共通科目」のうち読み替えを認める科目を含む)から12単位以上を習得する必要がある(そのうち編入学希望学部の受講科目8単位以上が必修)。

表1 社会福祉学科 教養福祉コース 卒業要件単位

	単位数		備考
共通科目	必修科目 10単位	16 単位	
	選択科目 6単位		
学 科 専攻科目	必修科目 8単位	18 単位	68 単位 社会福祉領域(8単位)、 社会福祉関連領域(2単位)
	選択科目 10単位		
コ ー ス 専攻科目	必修科目 22単位	34 単位	語学領域(6単位)含む
	選択科目 12単位		他学部受講科目 (編入学志望学部科目は 8単位以上必修)

ギャップ・イヤー・プログラムを選択する学生については、表2のとおり、「他領域関連科目」(「学部共通科目」のうち読み替えを認める科目を含む)から12単位以上を習得する必要があることとするものの、編入学希望学部の受講科目は必修としないこととする。

表2 社会福祉学科 教養福祉コース 卒業要件単位  
(ギャップ・イヤー・プログラム選択学生用)

	単位数		備考
共通科目	必修科目 10単位	16 単位	
	選択科目 6単位		
学 科 専攻科目	必修科目 8単位	18 単位	68 単位 社会福祉領域(8単位)、 社会福祉関連領域(2単位)
	選択科目 10単位		
コ ー ス 専攻科目	必修科目 22単位	34 単位	語学領域(6単位)含む
	選択科目 12単位		他学部受講科目(4単位)、 実習Ⅲ(8単位)

## 2 ギャップ・イヤー・プログラムを構成する科目

ギャップ・イヤー・プログラムを選択する学生は、次の科目をすべて履修することとする。

- (1)「演習Ⅰ」(教養福祉コース専攻科目、1年次通年、4単位、必修)
- (2)「実習Ⅰ(実習指導含む)」(教養福祉コース専攻科目、1年次通年、4単位、必修)
- (3)「実習Ⅲ(実習指導含む)」(教養福祉コース専攻科目(他領域関連科目)、1年次前期、8単位、選択)

## 3 社会体験プログラムのオプション

ギャップ・イヤー・プログラムを選択する学生は、1年次前期に、大学が用意したいいくつかの社会体験プログラムの中から1つを選択する。

プログラム案1：龍谷大学の教育・研究の海外拠点であるカリフォルニア州バークレーの「Ryukoku University Berkeley Center (RUBeC)」を利用して実施されている英語学習、インターンシップ、講義を組み合わせたBIE Program留学 ([http://intl.ryukoku.ac.jp/b\\_i\\_e/prog-info.html](http://intl.ryukoku.ac.jp/b_i_e/prog-info.html)) をアレンジした独自のプログラム

プログラム案2：学生交換協定校である南アフリカのクワズール・ナタール大学の協力のもとに南アフリカにおいて実施する独自のインターンシップ・プログラム

プログラム案3：特定非営利活動法人JIPPO (<http://jippo.or.jp/>)、寝屋川市民たすけあいの会 (<http://homepage3.nifty.com/neyagawatasukeai/>) 等の国内のNPO等でのインターンシップ・プログラム

#### 4 だまかな流れ

1年次4月：学内での事前指導（履修説明会、フレッシュャーズキャンプ等への参加、社会体験プログラムについてのオリエンテーション・事前学習、活動計画書の提出、個別相談等を含む。「演習Ⅰ」の前期分の一部として実施。）

1年次5～8月：社会体験プログラム（中間報告書の提出、担当教員による巡回指導や電子メール等での指導等を含む。「実習Ⅰ」の前期分および「実習Ⅲ」として実施。）

1年次9月上旬：後期からの大学生活に向けての「足並み揃え」（「演習Ⅰ」の前期分の一部として実施。）

1年次9月下旬：学内での事後指導（活動成果報告会（ギャップ・イヤー・プログラムを選択していない学生も参加）、最終報告書の提出等を含む。「実習Ⅰ」の後期分の一部として実施。）

表3 教養福祉コースにおける実習・演習科目の配置  
(ギャップ・イヤー・プログラム選択学生用)

科目名	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
演習Ⅰ	4月：学内での事前指導 9月上旬：足並み揃え	GYP選択学生以外と合同	/	
実習Ⅰ	5月：社会体験プログラム	GYP選択学生以外と合同 (9月下旬の学内での事後指導を含む)		
演習Ⅱ	/		GYP選択学生以外と合同	
実習Ⅱ			GYP選択学生以外と合同	
実習Ⅲ	6～8月：社会体験プログラム	/		

※ GYP：ギャップ・イヤー・プログラム

#### 5 ねらい

社会体験をとおして、社会および自己を知ることにより、生きる力としての教養を深めるとともに、自己の能力、適性、関心、問題意識等の明確化を図り、学びたい学問分野や学習目的を明確化させる。



南アフリカのスラム

## 6 募集定員

25名程度

## 7 選考方法

社会体験プログラムごとに選考基準を設定して選考する。

## 8 活動時間数

450時間以上（1単位=45時間 cf.ソーシャルワーク  
現場実習は180時間以上で4単位）

## 9 成績評価方法

社会体験プログラムごとに評価基準を設定して評価する。

## 10 実施体制

担当教員：教養福祉コースの担当教員と助手等から主担当者と担当者を定める。

担当事務部署：短期大学部教務課を主たる担当部署とし、社会体験プログラムごとに、国際センター、インターンシップ支援オフィス等の協力を得る。



南アフリカの大学

## 11 活動資金等の提供

学内で授業を受ける代わりに学外で活動することが中心であるため、活動資金等を提供する。活動資金の金額等は、社会体験プログラムごとに設定する。

## 12 ギャップ・イヤー・プログラムの名称

- ①名称案1：長期オフキャンパス・プログラム
- ②名称案2：長期フィールドワーク・プログラム
- ③名称案3：長期フィールドスタディ・プログラム
- ④名称案4：長期サービス・ラーニング・プログラム
- ⑤名称案5：スタディング・ホリデー・プログラム
- ⑥名称案6：インテンショナル・モラトリアム・プログラム
- ⑦名称案7：ギャップ・セメスター・プログラム
- ⑧名称案8：自己・社会発見プログラム
- ⑨名称案9：自己・社会探求プログラム
- ⑩名称案10：イヤー・アウト・プログラム
- ⑪名称案11：イヤー・オフ・プログラム
- ⑫名称案12：ディファード・イヤー・プログラム
- ⑬名称案13：ブリッジング・イヤー・プログラム
- ⑭名称案14：タイム・オフ・プログラム
- ⑮名称案15：タイム・アウト・プログラム

## 13 入試広報戦略

日本における先駆的な取組であること、編入を前提としたコースで実施することでギャップ・イヤーの特長を生かすことができること、などをアピールする。

## 14 ギャップ・イヤーに関する 主なウェブ・サイト

- [http://www.wasedajuku.com/wasemaga/unipro-note/2008/06/post\\_135.html](http://www.wasedajuku.com/wasemaga/unipro-note/2008/06/post_135.html)
- [http://en.wikipedia.org/wiki/Gap\\_year](http://en.wikipedia.org/wiki/Gap_year)
- <http://www.nucba.ac.jp/faculty/international/program.html>
- <http://koryo.nucba.ac.jp/kyoiku/kyoiku/index.html>
- <http://www.keisen.ac.jp/univ/ningen/field.htm>

以上

## FDサロンレポートとは

大学教育開発センターでは、教職員間の交流の場として、各種の教育活動の経験や意見が話し合えるように「FDサロン」を2002年10月から開催しています。

大学教育開発センターの運営に関わる教職員が、話題提供者をコーディネートし運営されています。話題提供者のお話に耳を傾け、お茶でも飲みながら自由に意見交換等が行える機会として定着してきました。しかし、開催時間や開催場所の問題から、参加ができないとの声も聞かれます。そのようなことから、FDサロンでの話題をもっと全学に還流させ、FDの取り組みを深めていくためにFDサロンレポートを発行することいたしました。

## FDサロンレポート 09-1

発行日：2009年7月

発行：龍谷大学 大学教育開発センター

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

TEL. 075-645-2163 FAX. 075-645-2190

<http://www.ryukoku.ac.jp/faculty/fd/index.html>